

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人津山慈風会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門	看護	夜・通信	59 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校にて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人津山慈風会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営会議
役割	学校の教員に加えて、経営母体である一般財団法人津山慈風会の幹部職員3名を加えて月一回の月例会を開き、学校に係る当面する問題・様々な課題に対処している。 校長の諮問機関。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般財団法人津山慈風会 総務人事グループ部長	特に定めない	前岡山県赤磐警察署長
一般財団法人津山慈風会 総務人事グループ相談役	特に定めない	元中国銀行福渡支店長
一般財団法人津山慈風会 統括看護部長	特に定めない	元本校専任教員
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人津山慈風会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
1 年度末の教務会議において、次年度の授業計画を立案するため、数回にわたって綿密な議論を重ねている。その際、年2回の講師会議でいただいている成績概況に関する授業者のコメントや学生の授業に対する取組状況なども勘案している。	
2 シラバスは、年度当初に、授業担当者に学校としての授業評価に関する姿勢や考え方を示す文書「本校の教育・評価に関する指針とシラバス記載上の配慮事項」を配布して共通理解をはかり、可能な限り統一的な書式にあわせて記述してもらうように配慮している。	
3 できあがったシラバスは冊子にして学生・教員に配布し、外部に対しても冊子閲覧の便宜を図っている。	
授業計画書の公表方法	冊子閲覧
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
1 科目の評価にあたっては、それぞれの科目において、終講試験等の単一の方法のみによらないように、一定程度のレポート・課題等を加味することを申し合わせている。	
2 年2回の講師会議において成績の概況を全講師に公表し、成績評価に係る様々な課題や現況を情報交換する機会を設けている。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末の後期講師会議において、終了した基礎分野を除く科目について総合点、個人の平均点を算出し、クラス順位を出している。また、あわせて、単位認定をしている。</p> <p>従って、下位4分の1に入っているかどうかの判定は可能である。</p> <p>基礎分野については、「既修得単位認定」を受ける学生もおり、除いている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本校にて、閲覧可能
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生便覧の「第5章 単位認定、卒業 21条」に、「学校長は本学校に3年以上在学し、別に定める単位を修得且つ欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内の学生について卒業を認定する」と明記している。2月の後期講師会議に成績一覧を提出し、承認を得ている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校にて、閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	津山中央看護専門学校
設置者名	一般財団法人津山慈風会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	本校にて閲覧可能
財産目録	
事業報告書	本校にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	本校にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

★実習は講義中の内数で、大凡の目安

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
専門学校		看護専門課程	看護学科（単位制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	97単位	74 単 位	0 単 位	23 単 位	0 単 位	0 単 位
			97単位時間				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		125人	0人	9人	85人	94人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義は教員による知識注入型のスタイルの他、発表形式によるプレゼン、討論、各自のテーマ学習等様々な形式で学習を深めることに意を注いでいる。
成績評価の基準・方法
（概要） P9に同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） P9に同じ
学修支援等
（概要） 学校設立母体による3種類の奨学金あり。 1 慈風会奨学金 2 特待生奨学金 3 育英奨学金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	1人 (4%)	25人 (96%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 「社会人基礎力」の養成を本校教育の中心課題として位置づけて、様々な場面で教育している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師資格の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状（平成30年度）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112人	3人	2.7%
(中途退学の主な理由) 1 学業不振 2 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1 臨床心理士を中心とする事例研究 2 チューター制度による個別支援		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費 (年額)	諸費 (月額)	合計
看護	100,000 円	320,000 円	60,000 円	8,000 円	57,6000 円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
修学支援 (任意記載事項)					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校評価のまとめ」(学校内にて閲覧)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
設立母体である一般財団法人津山慈風会本部の総務人事グループ総務部長、元高校長、保護者、同窓生、を交えた構成メンバーで関係者評価を行う方針。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	
一般財団法人津山慈風会	2019年7月～	総務人事グループ総務部長
関西大学非常勤職員	2019年7月～	元備前緑陽高校校長
民間人	2019年7月～	前本校校長・同窓生
民間人	2019年7月～	元看護師・同窓生
教育に関する有識者	2019年7月～	元蒜山高校長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 冊子「学校評価のまとめ」の本校での閲覧		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://tcsc.tch.or.jp/
--